

岐阜県 岐阜市

1. 水土里ネット各務用水 (各務用水土地改良区)

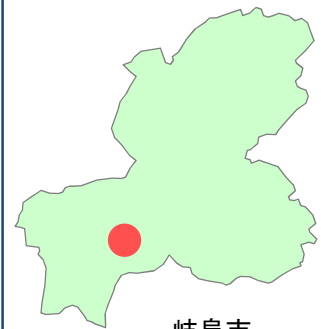
～ 農地と用水路は地域の宝 手渡そう次の世代へ美しく ～

キーワード

自然・景観

伝統・継承

その他(自然エネルギー・
施設保全・地域づくり)



岐阜市



水路上部空間を活用した太陽光発電



竹の子祭りと竹伐りボランティア活動



倒木処理の様子

活動のきっかけ

- ◆農家の減少・高齢化による地域の農業の減退。地域の宝である各務用水と美しい水田は、用水法面には笹や竹が生い茂り、耕作放棄地が増加
- ◆地域の宝である各務用水の復活を目指して平成20年に活動開始

取組概要

- ◆用水路の法面を活用して、太陽光発電を開始
- ◆用水路法面の竹やぶ化防止のため「竹の子祭り」を開催し都市住民と交流
- ◆耕作放棄地でサツマイモを生産し本格芋焼酎「鵜酔」(うすい)を開発

活動の効果

- ◇太陽光発電の導入により土地改良施設の維持管理費を15%軽減
- ◇用水路の法面に整備した太陽光発電装置が、地域のシンボル(ランドマーク)として地域住民に浸透
- ◇子ども達の環境学習や、ボランティア等との除草、水路補修等の共同保全活動を通じた地域資源の再発見

水土里ネット各務用水

岐阜市藪田南5丁目14-12(シンクタンク庁舎3F)
TEL:058-215-0751 FAX:058-216-0058

2. ^{とき}時まちづくり活動推進実行委員会

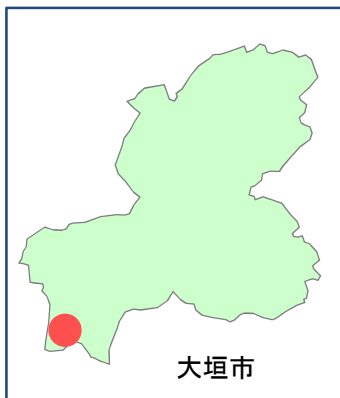
～ 地元大好き時の郷 仲間と共にご縁を紡ぐ ～

キーワード

自然・景観

「食」の提供・活用

定住・移住



大垣市



地味噌として復活させた「長範みそ」



復活させた砂糖菓子「舞鶴」



景観保全活動～桜の剪定～

活動のきっかけ

- ◆平成18年の市町村合併時に地区の将来に危機感を抱き、住民主導による地域づくり活動で地区を守っていくことを目的として委員会を設立

取組概要

- ◆桜並木や、烏帽子岳の登山道整備による景観保全やこども達の環境学習を実施
- ◆地味噌「長範みそ」、砂糖菓子「舞鶴」の復活と新商品の開発
- ◆定住、移住希望者の受入れと移住者へのフォローによる移住の推進

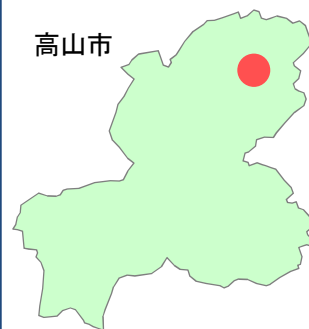
活動の効果

- ◇登山道の整備やPR用マップの作成による情報発信により、登山者が約 1,000から約 3,200人(H23→H27)へ増加
- ◇復活させた「長範みそ」を材料として新たなスイーツ「味噌ラスク」や「味噌饅頭」を開発
- ◇移住者12組が活動を理解し、地域づくり活動に積極的に参加することで地域が活性化
- ◇活動を契機に近隣3地区と協働活動する機運が醸成され、旧上石津町を全域とする「上石津まちづくり協議会」が設立

時まちづくり活動推進実行委員会

大垣市上石津町打上535

TEL:0584-45-3046 FAX:0584-45-3047



3. 一般社団法人 ふるさと体験飛騨高山

～ 日本一広い市の資源を活かした教育旅行 ～

キーワード

自然・景観

国内観光

子ども(教育・体験)



子ども達の農作業体験の様子～畑の畝づくり～



民宿オーナーから学ぶ箸づくりの様子



築100年以上の体験民宿

活動のきっかけ

- ◆従前より各々で行われていた農業・自然体験などの都市住民や学校との交流活動の窓口を、高山市で一本化するため平成18年に組織を設立

取組概要

- ◆「飛騨高山」の歴史文化資源と豊かな自然資源を組み合わせた農山村体験プログラムを、教育旅行プランとして都市部の小中学校に提供
- ◆高山市内の広範囲な受入地区が連携し、「民宿」を学校で貸し切り子ども達を受入れ
- ◆民宿オーナーや女将が、子ども達に田植えなどの「体験活動」を指導

活動の効果

- ◇民宿が比較的閑散期である春から初夏（5月連休明け～6月中旬）の教育旅行の受入れは、年間を通じた民宿の経営安定化に寄与
- ◇団体を介して教育旅行に参加する子ども達が、約4,200人から6,600人(H23→H27)へ増加
- ◇農作業の補助者として生徒を受け入れることにより労働力を確保。高齢者等が農業指導などを行う機会が増加し生きがいに寄与

一般社団法人 ふるさと体験飛騨高山
高山市丹生川町日面73-1
TEL:0577-79-2005 FAX:0577-79-2006



4. しおやもも同好会

～ しおやももを通じた誇れる故郷の創造 ～

キーワード

伝統・継承

地産地消



地域全体で活動する塩屋町住民



幻のすもも「しおやもも」と「しおやももジャム」



地域の子も達

活動のきっかけ

- ◆鳥獣被害や高齢化による耕作放棄地の増加等の地域の課題を解決するため、地域特産品「しおやもも」を保存し、地域活性化を図ることを目的として平成17年に同好会を設立

取組概要

- ◆地域特産品「しおやもも」をJAひだ、宮川朝市や宅配で販売
- ◆「しおやもも」を材料とした「まぼろしのしおやももジャム」を新たに開発し、町内の商店や市内のアンテナショップ等で販売

活動の効果

- ◇「しおやもも」の生産量が約400kgから1,300kg(H23→H27)に増加
- ◇「しおやもも」を地域のシンボルとして位置付け、様々な活動を行うことで郷土愛を育成
- ◇中山間地域等直接支払制度による集落協定活動や地域特産品開発の取組が、地域農業の特色は自分達で創造するという意識を醸成

しおやもも同好会

高山市塩屋町1336番地

TEL:0577-33-7247 FAX:0577-33-7247

5. ^{あらきごう}荒城郷まほろば文化村推進協議会

～ 自然と文化を尊び、賑わいある豊かな荒城郷 ～

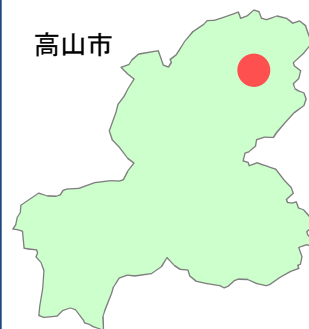
キーワード

自然・景観

伝統・継承

子ども(教育・体験)

高山市



荒城農業小学校「稲刈り・ハザかけ授業」の様子



郷土料理弁当「あら！きれい弁当」



荒城郷農業体験交流館

活動のきっかけ

- ◆農業者の高齢化、担い手・後継者不足、耕作放棄地の増加などに対応して、「農」をキーワードに農村文化・技術・風習・食文化等を将来を担う人達に継承することを目的として、平成20年に協議会を設立

取組概要

- ◆農業体験、郷土料理弁当「あら！きれい弁当」の販売など農業に関連した伝統文化の保全・活用活動を実施
- ◆郷土料理づくりとコラボした陶芸体験ツアーや里山のくらし伝承講座など各種イベントを実施

活動の効果

- ◇秋の収穫祭「荒城郷まほろば文化祭り」の来場者数が約1,800人から約3,300人(H23→H27)に増加
- ◇郷土料理弁当「あら！きれい弁当」の販売が80食から1,000食に増加(H23→H27)
- ◇都市住民との交流で地域が活性化するとともに、観光都市「飛騨高山」の市街地に隣接する農村地域としての知名度が向上
- ◇地域全体の活動を通じて、地域の連帯意識が醸成

荒城郷まほろば文化村推進協議会

高山市冬頭町1番地1(JA飛騨国府支店営農課)

TEL:0577-72-3702 FAX:0577-72-3803

6. かしもかせ 加子母風起こし実行委員会

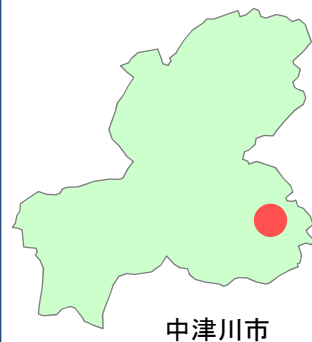
～ 田中千香士音楽祭 世界で唯一の芝居小屋で
クラシックコンサート ～

キーワード

伝統・継承

国内観光

子ども(教育・体験)



第18回明治座クラシックコンサート



子どもたちのためのクラシックコンサート



加子母保育園での出張コンサート

活動のきっかけ

- ◆平成10年に東京芸術大学名誉教授の田中千香士氏が中津川市「明治座」を訪れた際、子どもたちに「本当の楽器の音を聴かせたい」との熱意がきっかけとなり、「クラシックコンサート」を開催したことを契機に活動を開始

取組概要

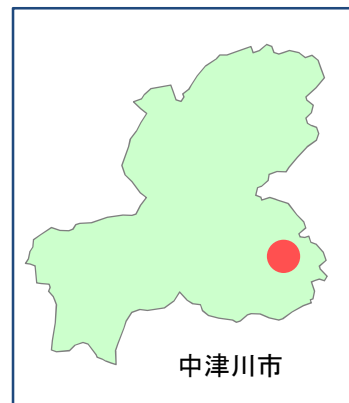
- ◆岐阜県有形民俗文化財指定の「明治座」で「明治座クラシックコンサート」、「地域の子どもたちのためのクラシックコンサート」、「加子母歌舞伎」を毎年開催
- ◆出張クラシックコンサートを市内の保育園、小学校などで毎年開催

活動の効果

- ◇「明治座クラシックコンサート」や「加子母歌舞伎」公演など「明治座」が全国に発信されたことで観客数が215千人(～H27)を達成
- ◇子ども達が本物のクラシック音楽に触れることにより、地域の賑わいが戻る
- ◇田中千香士氏の「山村の子ども達に本当の楽器の音を聴かせてあげたい」という意思を引き継いだ「出張クラシックコンサート」が市内の保育園、小中学校、デイサービスセンターなどの各施設へ広がり、地域の活性化

加子母風起こし実行委員会

中津川市加子母3519番地2(中津川市役所)
TEL:0573-79-2111 FAX:0573-79-2700



7. ^{かしも}加子母教育協議会

～ ときどきわくわく学校へ行こう
加子母教育協議会の活動 ～

キーワード

伝統・継承

子ども(教育・体験)

その他(ボランティア)



明治座の歴史と技術を学ぶ(小学3年生)



加子母で働く若者との談話会(中学2年生)



未来について考える(中学3年生)

活動のきっかけ

- ◆市町村合併を契機に、加子母地域の子ども達を学校・家庭・地域ぐるみで育てる学校支援活動に取り組む組織として、平成18年に協議会を設立

取組概要

- ◆「加子母の子どもたちを学校・家庭・地域ぐるみで育てよう」をテーマに「教育の日」として、地域の人を講師に、地域参加型授業参観を毎年11月に開催
- ◆夏休みを利用して、加子母地域に新たに赴任してきた先生が地域について学ぶ「加子母1日研修」を開催

活動の効果

- ◇地域のコミュニケーション維持、子ども達の安全・安心な環境づくりに寄与
- ◇子ども達が地域の素晴らしさを知り、郷土愛が醸成。また、将来地域を担う人材育成に寄与
- ◇講師として参加することにより、授業内容を地域全体で企画。地域全体で子ども達を育てていくという意識の醸成

加子母教育協議会

中津川市加子母3519番地2(中津川市役所)

TEL:0573-79-2111 FAX:0573-79-2700